

推 進 施 策	1-1 生きる力の育成を重視した教育内容の充実	No.	1			
事 業 名	教育・保育要領に基づく教育の実施	担当課	学校教育課			
事 業 概 要	発達や学びの連続性を踏まえた幼児教育の充実を図ります。 認定こども園における、年齢に応じた教育の実施に努めます。 認定こども園と小学校との連携強化に努めます。 遊びを通した英語活動を進めます。					
事 業 の 対 象	対象(誰を・何を) 幼児 意図と結果(どういう状態にしたいのか・求めるもの) 幼児教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なもので、幼児期の特性を踏まえた充実した教育が求められており、各園では、教育・保育の成果をしっかりと小学校につなげるよう、子どもたちを中心に据えた教育活動を展開し、健やかな育ちを指導・支援する。英語に触れる機会を増やすことで、幼児期からの英語に対する興味と意欲の向上をめざす。					
具 体 施 策 (Plan)	教育・保育要領に基づく教育課程を作成し、実態に合わせた指導計画を策定している。特に発達や学びの連続性を踏まえた教育を意識して、教育活動を行う。 認定こども園で、英語指導講師等による英語活動を実施する。					
令和 5 年度 事業実績状況 (Do)	小学校と連携し、小学校からの指導内容や指導方法を知り、幼児の学びや育ちに見通しをもった教育活動を行った。 「幼児の健やかな心と体の育成」に取り組むとともに、基本的生活習慣の確立、自立心、社会性、道徳性、人とのかかわる力の育成、遊びの中での思考力の基礎の育成、話す力・聞く力の育成、豊かな感性を育む教育を行った。 3・4・5歳児を対象に、英語指導講師・英語担当の保育教諭による英語活動を各クラスにつき月1回、年間計画のテーマに沿って実施した。毎月のテーマを決め、歌を歌ったりゲームをしたりリズム室で身体を動かした。また、ハロウィンやクリスマス、新年の行事に関する制作をした。					
事 業 の 評 価 (Check)	必要性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。) ☒ 増加 ☐ 横ばい ☐ 減少 ☐ かなり減少 有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。) ☐ 十分寄与する ☒ 概ね寄与する ☐ あまり寄与していない ☐ できていない 経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。) ☐ 十分できている ☒ できている ☐ あまり寄与していない ☐ できていない 目標達成度(計画どおり目標を達成できたか。) ☒ 十分できている ☐ できている ☐ あまり寄与していない ☐ できていない					
総 合 評 価	必要性 4	有効性 3	効率性 3	達成度 4	総合評価 A	十分成果が上がっている
事 業 の 方 向 性	☐ さらに重点化する ☒ 現状のまま継続する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止・廃止を検討する		課題や今後の方針 (Action)	「幼稚園等教員育成指標」を基に、保育教諭の資質・指導力の向上に向けての研修を行い、0歳から就学前までの連続した保育・教育の質の向上を図る。子どもたちは、楽しいゲームを通して、英語が好きになり、小学校へつなげていくことができるよう、健康福祉部と連携し認定こども園での英語活動を継続する。		
教育委員会評価 (二次評価)	子育て支援課、認定こども園と連携し、就学前まで連続した保育・教育の質を向上させる取組を継続してください。					

推 進 施 策	1-1 生きる力の育成を重視した教育内容の充実	No.	2			
事 業 名	確かな学力の育成	担当課	学校教育課			
事 業 概 要	本市の特色ある学力向上施策として外国語活動・授業の推進に努めます。 外国語活動・授業（英語活動・授業）の時間数確保に努めます。					
事 業 の 対 象	対象(誰を・何を) 児童・生徒 意図と結果(どういう状態にしたいのか・求めるもの) 言語や異文化を理解することができる人材の育成に向け、小学校・中学校での英語活動の時間数確保に努める。					
具 体 施 策 (Plan)	小学校・中学校共に全学年において英語活動を実施し、言語や文化に対する体験的な理解やコミュニケーション能力の育成を目指す。					
令和 5 年度 事業実績状況 (Do)	阿波市内全ての小学校・中学校において、海外から招致したALT（外国語指導助手）による英語の授業を取り入れていくと共に子どもたちとALT（外国語指導助手）と英語の授業以外でも共に学校生活を送ることにより、外国人とのコミュニケーション能力や異文化を理解することのできる人材育成の推進に取り組んだ。 また、小学校においては英語講師によるT2での指導にも取り組み、英語に対する関心を高めることができた。					
事 業 の 評 価 (Check)	必要性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。) ☒ 増加 ☐ 横ばい ☐ 減少 ☐ かなり減少 有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。) ☒ 十分寄与する ☐ 概ね寄与する ☐ あまり寄与していない ☐ できていない 経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。) ☐ 十分できている ☒ できている ☐ あまり寄与していない ☐ できていない 目標達成度(計画どおり目標を達成できたか。) ☐ 十分できている ☒ できている ☐ あまり寄与していない ☐ できていない					
総 合 評 価	必要性	有効性	効率性	達成度	総合評価	十分成果が上がっている
	4	4	3	3	A	
事 業 の 方 向 性	☐ さらに重点化する ☒ 現状のまま継続する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止・廃止を検討する				課題や今後の方針 (Action)	ALT（外国語指導助手）の配置は、最長で5年間であるが、子どもたちとのつながりが深まる前に短期間で帰国したり、講師としての能力、適応性など、市が希望する人材の確保が難しい。
教育委員会評価 (二次評価)	学力向上推進講師と英語指導講師のT2は、阿波市独自の取組であり、十分な成果が出ているので、今後も継続して実施してください。					

推 進 施 策	1-1 生きる力の育成を重視した教育内容の充実	No.	3			
事 業 名	豊かな心の育成	担当課	学校教育課			
事 業 概 要	人権教育、道徳教育の充実に努めます。 命を大切にする心、お互いを尊重し合う意識、いじめや暴力行為に向かわない態度の育成を図ります。 体験活動の充実に努めます。 芸術・文化活動の実施に努めます。					
事 業 の 対 象	対象(誰を・何を) 児童・生徒 意図と結果(どういう状態にしたいのか・求めるもの) 人権教育・道徳教育を充実させ、生命を大切にする心や思いやりの心をもった人間関係を構築し、いじめに向かわない態度の育成など、豊かな感性の中にも確かな人権感覚を持った児童生徒の育成、歴史や文化に触れる機会や文化的な体験活動を充実させることで、豊かな感性や情操を培う。					
具 体 施 策 (Plan)	命の大切さを学ぶ動植物の育成、世代間交流を通して、思いやりの心を育む。地域連携による郷土文化の継承活動、教科や特別活動における主体的な芸術・文化活動、人権教育の充実を推進した。「阿波市いじめ防止対策基本方針」に基づき、各学校でのいじめ防止の取組、早期発見、早期対応、教育相談体制、生徒指導体制、校内研修を組織的に取り組む。					
令和 5 年度 事業実績状況 (Do)	人権擁護委員と一緒に野菜や花を栽培したり、人権教育推進のための校内研修や道徳教育・人権教育の充実を図った。阿波市人権教育研究大会も毎年開催している。伝統文化継承として、小学校では、地元の連を招いて、阿波踊りを練習し、運動会等で披露した。また小学校では、阿波市の名所・旧跡めぐりを実施し、郷土の文化財について学習した。					
事 業 の 評 価 (Check)	必要性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。) ☒増加 ☐横ばい ☐減少 ☐かなり減少 有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。) ☐十分寄与する ☒概ね寄与する ☐あまり寄与していない ☐できていない 経済・効率性(事務効率化・コスト削減しているか。) ☒十分できている ☐できている ☐あまり寄与していない ☐できていない 目標達成度(計画どおり目標を達成できたか。) ☒十分できている ☐できている ☐あまり寄与していない ☐できていない					
総 合 評 価	必要性 4	有効性 3	効率性 4	達成度 4	総合評価 A	十分成果が上がっている
事 業 の 方 向 性	☐ さらに重点化する ☒ 現状のまま継続する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止・廃止を検討する		課題や今後の方針 (Action)	小学校では、平成30年度から道徳が教科化された。児童・生徒の豊かな情操と道徳心を培い、心の通う人間関係を構築する能力を養うため、発達段階に応じた指導内容を組織的、計画的に実践する。		
教育委員会評価 (二次評価)	自分の大切さとともに、他の人の大切さを認め、豊かな感性と、確かな人権感覚を育てるよう努めてください。					

推 進 施 策	1-1 生きる力の育成を重視した教育内容の充実	No.	4			
事 業 名	健やかな体の育成	担当課	学校教育課			
事 業 概 要	体力向上に関する取組に努めます。 運動習慣や生活習慣の指導に努めます。 部活動の活性化に努めます。 薬物乱用防止教室の実施を図ります。					
事 業 の 対 象	対象(誰を・何を) 児童・生徒 意図と結果(どういう状態にしたいのか・求めるもの) 健やかな体の育成のため、体力づくりをはじめ、運動習慣の確立や望ましい生活習慣の形成を図る。また児童生徒の健康の保持増進を図ることや、学校教育活動に必要な健康や安全への配慮を行うことなどにも取り組む。					
具 体 施 策 (Plan)	各学校において、毎年「体力向上計画」を立て、実施していく。 スポーツへの関心や意欲を高めるとともに体力づくりを図る。					
令和 5 年度 事業実績状況 (Do)	小・中学校では、運動習慣の定着、健康増進や体力向上を図るため、体力向上指導員派遣事業や阿波市スポーツ推進委員を活用している。また、全国体力・運動能力・運動習慣等の調査を行った。 薬物乱用防止教室を開催し、学校薬剤師等による指導・啓発を行った。 中学校の部活動では、部活動指導員3名と外部コーチを一部配置。					
事 業 の 評 価 (Check)	必要性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。) ☒ 増加 ☐ 横ばい ☐ 減少 ☐ かなり減少 有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。) ☐ 十分寄与する ☒ 概ね寄与する ☐ あまり寄与していない ☐ できていない 経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。) ☐ 十分できている ☒ できている ☐ あまり寄与していない ☐ できていない 目標達成度(計画どおり目標を達成できたか。) ☐ 十分できている ☐ できている ☒ あまり寄与していない ☐ できていない					
総 合 評 価	必要性 4	有効性 3	効率性 3	達成度 2	総合評価 B	成果が上がっている
事 業 の 方 向 性	☐ さらに重点化する ☒ 現状のまま継続する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止・廃止を検討する		課題や今後の方針 (Action)	各学校の児童・生徒の実態に応じ、基本的な生活習慣の確立・食育の推進、体力の向上を図る。 部活動の地域移行に向けた取り組みを検討する。		
教育委員会評価 (二次評価)	体力向上計画に基づき、運動習慣の定着や生活習慣の形成を図り、肥満度割合の減少に努めてください。					

推 進 施 策	1-1 生きる力の育成を重視した教育内容の充実	No.	5		
事 業 名	教職員の資質向上	担当課	学校教育課		
事 業 概 要	ICT活用に関する研修会の実施に努めます。 指導力向上の研修会・研究会の実施に努めます。				
事 業 の 対 象	対象(誰を・何を)				
	教職員				
	意図と結果(どういう状態にしたいのか・求めるもの)				
教職員誰もが、簡単にICT機器の活用ができ、さらにはICT機器を活用した授業方法を研究し、「楽しくて、わかる授業」の実践をめざす。					
具 体 施 策 (Plan)	児童・生徒のICT活用による学力向上推進のため、教職員対象に研修会や講演会を開催する。ICT活用教育に対する方針を示し、教員のICT活用指導力の向上に努める。阿波市小中学校ICT活用相談事業を実施する。				
令和 5 年度 事業実績状況 (Do)	ICT活用相談事業として、教育研究所研究員やICT支援員を各学校に派遣し、学校に対し技術面・運用面で、きめ細やかな支援を行った（ICT機器を活用した授業提案や操作支援等の授業支援、校務支援、ICT活用に対する情報の提供、校内研修及び環境整備等）。また、小・中学校教職員を対象に「1人1台端末の活用」についての研修会及び教育文化講演会（情報モラル教育）を開催した。				
事 業 の 評 価 (Check)	必要性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)				
	☒ 増加	☐ 横ばい	☐ 減少	☐ かなり減少	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	☐ 十分寄与する	☒ 概ね寄与する	☐ あまり寄与していない	☐ できていない	
	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)				
	☒ 十分できている	☐ できている	☐ あまり寄与していない	☐ できていない	
総 合 評 価	目標達成度(計画どおり目標を達成できたか。)				
	☐ 十分できている	☒ できている	☐ あまり寄与していない	☐ できていない	
	必要性	有効性	効率性	達成度	総合評価
4	3	4	3	A	
事 業 の 方 向 性	☐ さらに重点化する ☒ 現状のまま継続する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止・廃止を検討する		課題や今後の方針 (Action)	「教える授業」から「学び合う授業」へと変わる授業方法の改善に努める。ICT活用に苦手意識をもつ教員のサポート体制を充実させる。ICTを活用して校務の情報化、効率化を図る。	
教育委員会評価 (二次評価)	児童・生徒の「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に進めていくため、引き続き教職員のICT活用指導力の向上及びサポート体制の充実を図ってください。				

推 進 施 策	1-1 生きる力の育成を重視した教育内容の充実	No.	6			
事 業 名	働き方改革の推進	担当課	学校教育課			
事 業 概 要	教員の在校時間等の可視化を図り、業務の改善に努めます。					
事 業 の 対 象	対象(誰を・何を)					
	教職員					
	意図と結果(どういう状態にしたいのか・求めるもの)					
	業務の適正化と質的転換による教育力の向上と持続可能な学校づくりを目指す					
具 体 施 策 (Plan)	県による「とくしまの学校における働き方改革プラン」に沿って教職員の在校時間の適正化を推進する。					
令和 5 年度 事業実績状況 (Do)	令和3年度から、校務支援システムを阿波市内の小中学校全校に導入し、教職員個人が出退勤を入力することで管理職等による教員の在校時間の可視化を行っている。					
事 業 の 評 価 (Check)	必要性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)					
	☐ 増加	☒ 横ばい	☐ 減少	☐ かなり減少		
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)					
	☒ 十分寄与する	☐ 概ね寄与する	☐ あまり寄与していない	☐ できていない		
	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)					
	☐ 十分できている	☐ できている	☒ あまり寄与していない	☐ できていない		
	目標達成度(計画どおり目標を達成できたか。)					
☐ 十分できている	☐ できている	☒ あまり寄与していない	☐ できていない			
総 合 評 価	必要性	有効性	効率性	達成度	総合評価	成果が上がっている
	3	4	2	2	B	
事 業 の 方 向 性	☐ さらに重点化する ☒ 現状のまま継続する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止・廃止を検討する				課題や今後の方針 (Action)	在校時間の可視化を行い、時間外勤務の状況は改善しつつあるものの、依然として長時間勤務の職員が多く、今後教職員の業務の適正化を図ることが課題である。
教育委員会評価 (二次評価)	変形労働時間制の導入や教職員の働き方改革を、推進するよう工夫に努めてください。					

推 進 施 策	1-1 生きる力の育成を重視した教育内容の充実	No.	7		
事 業 名	環境教育の充実	担当課	学校教育課		
事 業 概 要	学校版環境ISOの指定に努めます。				
事 業 の 対 象	対象(誰を・何を)				
	児童・生徒				
	意図と結果(どういう状態にしたいのか・求めるもの)				
	子どもたちが、環境保全活動や環境問題の解決に、自発的、積極的にかかわろうとする態度や能力を育成する。また生命や自然を大切にし、郷土を愛するモラルの高い児童・生徒を育成する。				
具 体 施 策 (Plan)	「とくしまGXスクール」を申請し、学校での節電や節水、ごみ分別、リサイクル活動、学校環境美化に取り組むとともに、これらの取り組みを地域に広げ、地域での環境美化活動や自然観察などの体験活動を積極的に行い、家庭や地域にも波及させていく。				
令和 5 年度 事業実績状況 (Do)	「とくしまGXスクール」は、すべての小・中学校が取得している。 活動内容は、学校における節電や節水・ごみ分別・リサイクル活動、また地域に出向いての環境保全・環境美化・環境学習活動を行った。ごみゼロ運動やエネルギーについての学習を行うなど、各学校で様々な取り組みをした。				
事 業 の 評 価 (Check)	必要性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)				
	☒ 増加	☐ 横ばい	☐ 減少	☐ かなり減少	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	☒ 十分寄与する	☐ 概ね寄与する	☐ あまり寄与していない	☐ できていない	
	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)				
	☐ 十分できている	☒ できている	☐ あまり寄与していない	☐ できていない	
総 合 評 価	目標達成度(計画どおり目標を達成できたか。)				
	☐ 十分できている	☒ できている	☐ あまり寄与していない	☐ できていない	
	必要性	有効性	効率性	達成度	総合評価
4	4	3	3	A	
事 業 の 方 向 性	☐ さらに重点化する ☒ 現状のまま継続する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止・廃止を検討する		課題や今後の方針 (Action)	全ての小・中学校で環境について学習し、阿波市の自然保護、環境保護活動を積極的に行い、地域の環境を守るために行動できるよう学習する。	
教育委員会評価 (二次評価)	学校だけでなく、家庭や地域の美化活動、保全活動に参加し、郷土や自然に対する愛護心を育んでください。				

推 進 施 策	1－1 生きる力の育成を重視した教育内容の充実			N o .		8		
事 業 名	食育・地産地消の推進			担当課		給食センター		
事 業 概 要	食に関する指導の充実に努めます。 地域の農産物、食文化への興味を高める学習を行います。 阿波市学校給食農産物供給協議会や市産業経済部等との連携により、組織的な給食センターの運営に努めます。 学校給食での地場農産物の利用を積極的に進めます。							
事 業 の 対 象	対象(誰を・何を)							
	児童・生徒、学校給食							
	意図と結果(どういう状態にしたいのか・求めるもの)							
	学校給食における、食育や農産物の地産地消を推進する。							
具 体 施 策 (Plan)	全ての学校において学年毎にテーマを決めて給食時指導を行う。また、県の学校食育推進パワーアップ作戦では、対象学年毎にテーマを決めて食育授業に取り組む。さらに、学校給食を活用した食育を推進することを目的として「Awa産Our消Myメニュー」コンクールを実施する。 阿波市学校給食農産物供給協議会を毎月開催し、野菜の使用予定等の協議を行い、年間を通して地場農産物の安定購入を行うことで地産地消を推進する。							
令和 5 年度 事業実績状況 (Do)	全ての学校において学年毎にテーマを決めて給食時指導を行った。また、学校食育推進パワーアップ作戦では、小学校1・2・6年生、中学校1・3年生を対象に「食事の重要性」等についての食育授業を行った。 令和5年度の「Awa産Our消Myメニュー」コンクールは、児童・生徒から554点の応募があり、うち入選作品を学校給食献立として提供を行った。また、アエルワ食堂でも地産地消の献立メニューとして提供をしてもらった。 令和5年度の青果物の地産地消率は、67.7%となり前年の66.6%を上回った。これは、阿波市学校給食農産物供給協議会を毎月開催し、地場農産物の安定購入を行うとともに、品目の拡大に取り組んでもらった結果であると考えられる。また、米については、平成27度から継続して「阿波市産、あきさかり」を100%使用している。							
事 業 の 評 価 (Check)	必要性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)							
	●増加		○横ばい		○減少		○かなり減少	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)							
	○十分寄与する		●概ね寄与する		○あまり寄与していない		○できていない	
	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)							
	○十分できている		●できている		○あまり寄与していない		○できていない	
	目標達成度(計画どおり目標を達成できたか。)							
●十分できている		○できている		○あまり寄与していない		○できていない		
総 合 評 価	必要性	有効性	効率性	達成度	総合評価	十分成果が上がっている		
	4	3	3	4	A			
事 業 の 方 向 性	☐ さらに重点化する ☒ 現状のまま継続する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止・廃止を検討する				課題や今後の方針 (Action)	令和5年度の地産地消率がKPIを上回るとともに、対前年比においても1.1ポイント増となった。今後も引き続き食育に積極的に取り組み、阿波市学校給食農産物供給協議会を毎月開催し、年間を通して地場農産物の安定購入を行うとともに、安全・安心でおいしい給食の提供に努める。		
教育委員会評価 (二次評価)	今後も、県下有数の農業地域の学校給食センターとして、地産地消率を高め、食育を基盤とした教育を進めて下さい。							

推 進 施 策	1-1 生きる力の育成を重視した教育内容の充実	No.	9			
事 業 名	ICT教育の推進	担当課	学校教育課			
事 業 概 要	ICTを活用した授業の推進に努めます。 緊急時に備えた、オンライン学習等の体制を整備します。 ICT支援員を配置します。 ICT教育に必要な機材の活用、充実を図ります。					
事 業 の 対 象	対象(誰を・何を) 児童・生徒・教職員 意図と結果(どういう状態にしたいのか・求めるもの) 「確かな学力」を育成するため、児童生徒の学習・生活状況を踏まえた、わかる授業の実践を組織的に進め、指導方法の改善に努める。					
具 体 施 策 (Plan)	学力向上推進講師を各小学校に配置し、TT指導や放課後学習の指導を通して学力向上を図る。英語指導講師を小学校に配置し、小学校1年生から英語活動を実施している。また、ICT支援員を各学校に派遣し、タブレット型パソコン等の活用による授業方法の改善を図る。					
令和 5 年度 事業実績状況 (Do)	学力向上推進講師10名を小学校に、2名を学校教育課に配置し、英語指導講師5名を小学校に配置した。 また、タブレット型パソコン、デジタル教科書、電子黒板機能付きプロジェクター等のICT機器を活用した「楽しくて、わかる授業」の実践に取り組んだ。ICT支援員として、教育研究所研究員や情報通信技術支援員を各学校に派遣し、技術面・運用面での支援や教職員のICT活用力の育成を図った。					
事 業 の 評 価 (Check)	必要性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。) ☒ 増加 ☐ 横ばい ☐ 減少 ☐ かなり減少 有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。) ☐ 十分寄与する ☒ 概ね寄与する ☐ あまり寄与していない ☐ できていない 経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。) ☐ 十分できている ☒ できている ☐ あまり寄与していない ☐ できていない 目標達成度(計画どおり目標を達成できたか。) ☐ 十分できている ☒ できている ☐ あまり寄与していない ☐ できていない					
総 合 評 価	必要性	有効性	効率性	達成度	総合評価	成果が上がっている
	4	3	3	3	B	
事 業 の 方 向 性	☐ さらに重点化する ☒ 現状のまま継続する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止・廃止を検討する		課題や今後の方針 (Action)	教職員やICT支援員と連携しながら、1人1台端末や電子黒板機能付きプロジェクターなどを活用した授業の進め方を計画・実践する。		
教育委員会評価 (二次評価)	今後は、情報モラルや、令和7年度の1人1台端末の入れ替えに向けて、問題点を検証しながら、事業を進めてください。					

推 進 施 策	1-1 生きる力の育成を重視した教育内容の充実	No.	10		
事 業 名	読書活動の推進	担当課	学校教育課		
事 業 概 要	読書活動の推進に努めます。				
事 業 の 対 象	対象(誰を・何を)				
	児童・生徒及びその保護者				
	意図と結果(どういう状態にしたいのか・求めるもの)				
	読書活動を通じて、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高めて想像力を豊かにするとともに、広く世界を知り、生きる力の基盤を身につける。1人1人の興味・関心を尊重しながら、自主的な読書活動を推進する。				
具 体 施 策 (Plan)	学校図書環境整備・充実、読書活動を定着させる時間の確保、学校と図書館の連携及び学校ボランティアの読み聞かせ等を実施する。また、家庭における読書習慣の大切さについて保護者への周知を図る。				
令和 5 年度 事業実績状況 (Do)	小・中学校では、朝の読書活動を積極的に推進し、学校ボランティアによる読み聞かせも多くの学校で実施した。また、ブックリストを作成し、児童・生徒の興味と関心を高めた。				
事 業 の 評 価 (Check)	必要性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)				
	☒ 増加	☐ 横ばい	☐ 減少	☐ かなり減少	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	☐ 十分寄与する	☒ 概ね寄与する	☐ あまり寄与していない	☐ できていない	
	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)				
	☐ 十分できている	☒ できている	☐ あまり寄与していない	☐ できていない	
総 合 評 価	目標達成度(計画どおり目標を達成できたか。)				
	☐ 十分できている	☒ できている	☐ あまり寄与していない	☐ できていない	
	必要性	有効性	効率性	達成度	総合評価
4	3	3	3	B	
事 業 の 方 向 性	☐ さらに重点化する ☒ 現状のまま継続する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止・廃止を検討する		課題や今後の方針 (Action)	保護者に対し、読書活動の意義や重要性を知ってもらい、家庭における読書習慣の大切さを再認識するための情報発信や啓発を行う。	
教育委員会評価 (二次評価)	今後も引き続き、学校での読書活動を進めるとともに、家庭内読書習慣の意義や重要性等についての啓発活動に努めてください。				

推 進 施 策	1-1 生きる力の育成を重視した教育内容の充実	No.	11		
事 業 名	就学援助の実施	担当課	学校教育課		
事 業 概 要	教育の機会均等の理念に基づく就学援助を図ります。				
事 業 の 対 象	対象(誰を・何を)				
	児童・生徒の保護者				
	意図と結果(どういう状態にしたいのか・求めるもの)				
	経済的理由のため就学が困難と認められる児童・生徒の保護者に対し、就学援助費を交付することで、義務教育の円滑な実施に資する。				
具 体 施 策 (Plan)	毎年5月に申請を受け付け、7月認定。 小学校1年生に限り、認定後4月に遡り支給。 援助費の内容：学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、学校給食費、医療費等				
令和5年度 事業実績状況 (Do)	小学校129件、中学校108件の就学援助(準・要保護)を実施した。 また、令和6年度の新1年生(小・中学校)に対し、入学前に「新入学児童生徒学用品費」を、小学校28件、中学校19件支給した。				
事 業 の 評 価 (Check)	必要性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)				
	☒ 増加	☐ 横ばい	☐ 減少		
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	☐ 十分寄与する	☒ 概ね寄与する	☐ あまり寄与していない		
	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)				
	☐ 十分できている	☒ できている	☐ あまり寄与していない		
総 合 評 価	目標達成度(計画どおり目標を達成できたか。)				
	☒ 十分できている	☐ できている	☐ あまり寄与していない		
	必要性	有効性	効率性	達成度	総合評価
4	3	3	4	A	
事 業 の 方 向 性	☐ さらに重点化する ☒ 現状のまま継続する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止・廃止を検討する		課題や今後の方針 (Action)	就学が困難な児童生徒の保護者に対し、引き続き広報する。	
教育委員会評価 (二次評価)	就学が困難となる児童生徒と保護者に対し、今後も就学援助と入学前支給を継続してください。				

推 進 施 策	1-1 生きる力の育成を重視した教育内容の充実	No.	12		
事 業 名	キャリア教育の推進	担当課	学校教育課		
事 業 概 要	職場体験学習等の充実に努めます。				
事 業 の 対 象	対象(誰を・何を)				
	児童・生徒				
	意図と結果(どういう状態にしたいのか・求めるもの)				
	将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を 実現できる力を身につける教育活動を行う。				
具 体 施 策 (Plan)	学校ごとに定める「キャリア教育全体計画」に基づき、小学校では、「働くことの意義」や 「自己の生き方」についての学習、中学校では、他者との関わりのなかで、自分らしさに気づ き、夢や希望に向かっていく心豊かな生徒の育成に努める。				
令和 5 年度 事業実績状況 (Do)	小学校では、将来の夢についての発表、中学校では、2年生で職場体験学習を実施するととも に、県が実施する「キャリア教育を支援するための講演・出前授業」等を活用した。また、各 教科において、児童・生徒の社会形成能力、自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニ ング能力の育成を図った。				
事 業 の 評 価 (Check)	必要性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)				
	☒ 増加	☐ 横ばい	☐ 減少	☐ かなり減少	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	☒ 十分寄与する	☐ 概ね寄与する	☐ あまり寄与していない	☐ できていない	
	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)				
	☐ 十分できている	☒ できている	☐ あまり寄与していない	☐ できていない	
総 合 評 価	目標達成度(計画どおり目標を達成できたか。)				
	☐ 十分できている	☒ できている	☐ あまり寄与していない	☐ できていない	
	必要性	有効性	効率性	達成度	総合評価
4	4	3	3	A	
事 業 の 方 向 性	☐ さらに重点化する ☒ 現状のまま継続する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止・廃止を検討する		課題や今後 の方針 (Action)	教科、特別活動、部活動等を通して、課 題を見つけ、自ら解決し、より良い生き 方を考える学習を実施する。	
教育委員会評価 (二次評価)	キャリア教育についても、家庭や地域、関係機関と協力・連携し、取り組んで下さい。				

推 進 施 策	1-2 家庭や地域との連携・協働	No.	13			
事 業 名	学校・家庭・地域と連携した取組	担当課	学校教育課			
事 業 概 要	社会福祉体験活動等の実施に努めます。 ゲストティーチャーの活用により多彩な学びを提供します。 学校支援ボランティア事業を推進します。 学校施設を開放し活用を推進します。					
事 業 の 対 象	対象(誰を・何を) 児童・生徒 意図と結果(どういう状態にしたいのか・求めるもの) 児童・生徒が地域の行事に参加したり、地域の方々との関わりの中で、郷土を愛する心を育む。					
具 体 施 策 (Plan)	地域行事への参加、またゲストティーチャーを活用し、地域の教育力を生かした活動を行う。					
令和 5 年度 事業実績状況 (Do)	中学校美術部の「やねこじき」への参加により、地域の文化芸術の発展に努めた。また、学校支援ボランティアによる読み聞かせ、放課後のギター指導、農業体験等を通して、地域の方々との交流を深めた。(学校支援ボランティア登録 67名)					
事 業 の 評 価 (Check)	必要性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。) ☒ 増加 ☐ 横ばい ☐ 減少 ☐ かなり減少 有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。) ☒ 十分寄与する ☐ 概ね寄与する ☐ あまり寄与していない ☐ できていない 経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。) ☐ 十分できている ☒ できている ☐ あまり寄与していない ☐ できていない 目標達成度(計画どおり目標を達成できたか。) ☐ 十分できている ☒ できている ☐ あまり寄与していない ☐ できていない					
総 合 評 価	必要性 4	有効性 4	効率性 3	達成度 3	総合評価 A	十分成果が上がっている
事 業 の 方 向 性	☐ さらに重点化する ☒ 現状のまま継続する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止・廃止を検討する		課題や今後の方針 (Action)	学校支援ボランティアを活用し、地域の教育力を生かした学習を行う。また、地域資源を活用した学習を年間指導計画に位置づけ実践する。		
教育委員会評価 (二次評価)	地域の方々の知識や技能、豊かな経験を学習に取り入れ、地域との結びつきを深めるとともに、児童・生徒の郷土愛を育むよう事業を進めてください。					

推 進 施 策	1-2 家庭や地域との連携・協働	No.	14		
事 業 名	コミュニティ・スクール制度への移行	担当課	学校教育課		
事 業 概 要	コミュニティ・スクールへの移行を検討します。				
事 業 の 対 象	対象(誰を・何を)				
	小・中学校				
	意図と結果(どういう状態にしたいのか・求めるもの)				
	児童生徒の豊かな学びや健やかな成長を図るため、各学校が家庭や地域と連携協力して、地域とともにある学校を目指す。保護者や地域住民等の意向を把握して、学校運営に反映させる。				
具 体 施 策 (Plan)	阿波市学校運営協議会規則に基づき、コミュニティ・スクール(学校運営協議会)の設置及び運営を行う。各学校の委員を任命し、学校運営協議会での協議を行う。(委員報償を予算措置)				
令和 5 年度 事業実績状況 (Do)	阿波市学校運営協議会規則に基づき、各学校からの推薦による委員を任命し、委嘱状を112名に交付した。(うち66名は、保護者、地域住民等) 学校ごとに学校運営協議会を年数回開催し、学校運営の改善に努めた。				
事 業 の 評 価 (Check)	必要性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)				
	☒ 増加	☐ 横ばい	☐ 減少	☐ かなり減少	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	☐ 十分寄与する	☒ 概ね寄与する	☐ あまり寄与していない	☐ できていない	
	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)				
	☐ 十分できている	☒ できている	☐ あまり寄与していない	☐ できていない	
総 合 評 価	目標達成度(計画どおり目標を達成できたか。)				
	☐ 十分できている	☒ できている	☐ あまり寄与していない	☐ できていない	
	必要性	有効性	効率性	達成度	総合評価
4	3	3	3	B	
事 業 の 方 向 性	☐ さらに重点化する ☒ 現状のまま継続する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止・廃止を検討する		課題や今後の方針 (Action)	児童・生徒や学校が抱える複雑で多様化した課題について、地域住民等と共有し、地域の声を学校運営に生かすことで、「地域とともにある学校づくり」を進める。	
教育委員会評価 (二次評価)	地域と学校の連携を深め、より良い学校運営に繋げてください。				

推 進 施 策	1-3 心と体の健康問題への対応	No.	15			
事 業 名	教育支援センターの運営	担当課	学校教育課			
事 業 概 要	不登校児童生徒の社会的な自立の支援を行います。 不登校等に関する対策協議会の開催を図ります。 スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを配置し、専門的な視点からのサポートを行います。					
事 業 の 対 象	対象(誰を・何を) 不登校児童・生徒等 意図と結果(どういう状態にしたいのか・求めるもの) 何らかの心理的・情緒的な原因により登校しない、又は登校できない状態にある児童生徒等に対して、指導及び援助を行う。					
具 体 施 策 (Plan)	基本的生活習慣の改善や集団生活への適応、基礎学力の補充等のための教科学習、社会見学、スポーツ学習、野外活動等の体験学習及び相談活動を行う。					
令和 5 年度 事業実績状況 (Do)	活動内容：基礎学力の補充（5教科）及びテスト前による各専門教科の先生による教科指導、農作業、調理実習、スポーツ活動、交流会を開催。スクールカウンセラー3名（合計 月10回）、スクールソーシャルワーカー1名（月4回）によるカウンセリングを実施（保護者の教育相談、教育支援センター指導員に対する助言）。地域ボランティア（農業1名）、大学院生ボランティア（8名）による活動。 令和5年度入級者は、高校生1名、中学生19名。相談者は18名。 「不登校に関する対策協議会」を分散で各中学校区に分かれて開催し、情報交換や各学校での課題、関係機関からの情報提供、事例検討等を各関係機関と協力して対策を話し合った。					
事 業 の 評 価 (Check)	必要性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。) ☒ 増加 ☐ 横ばい ☐ 減少 ☐ かなり減少 有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。) ☐ 十分寄与する ☒ 概ね寄与する ☐ あまり寄与していない ☐ できていない 経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。) ☐ 十分できている ☒ できている ☐ あまり寄与していない ☐ できていない 目標達成度(計画どおり目標を達成できたか。) ☐ 十分できている ☒ できている ☐ あまり寄与していない ☐ できていない					
総 合 評 価	必要性	有効性	効率性	達成度	総合評価	成果が上がっている
	4	3	3	3	B	
事 業 の 方 向 性	☐ さらに重点化する ☒ 現状のまま継続する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止・廃止を検討する				課題や今後の方針 (Action)	児童生徒の実態に応じた適切な支援を行うためにも、各学校の教職員、関係機関の職員、児童民生委員等の共通理解と連携を図るとともに、組織体制を強化する。
教育委員会評価 (二次評価)	保護者・教職員・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーと連携したり、ICTを活用しての支援についても、取り組んでください。					

推 進 施 策	1-3 心と体の健康問題への対応	No.	16			
事 業 名	教職員の指導力とカウンセリング能力の向上	担当課	学校教育課			
事 業 概 要	児童生徒理解の徹底を図ります。 いじめに関するアンケート調査を実施します。 保健相談・発達相談の充実を図ります。					
事 業 の 対 象	対象(誰を・何を) 児童・生徒 意図と結果(どういう状態にしたいのか・求めるもの) 児童・生徒の心のケアをはじめ、保健相談・発達相談を通じて、子どもたちや保護者の悩みや不安の解消、心の問題の未然防止や早期支援を行う。					
具 体 施 策 (Plan)	小・中学校では、養護教諭が担任等と連携しながら、保健指導を実施したり、各中学校を拠点として配置しているスクールカウンセラーが児童生徒や保護者の心の相談に応じる。					
令和 5 年度 事業実績状況 (Do)	各学校では、年に2～3回、いじめ調査のアンケートを実施した上で、実態を把握し、解消に取り組んだ。また、スクールカウンセラーによる児童・生徒や保護者に対する定期的なカウンセリングだけでなく、直接教育相談を行ったり、養護教諭や学級担任と密に連絡をとって対応できた。スクールソーシャルワーカーを配置し、福祉の視点からも児童・生徒や保護者、学校をサポートした。					
事 業 の 評 価 (Check)	必要性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。) ☒ 増加 ☐ 横ばい ☐ 減少 ☐ かなり減少 有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。) ☐ 十分寄与する ☒ 概ね寄与する ☐ あまり寄与していない ☐ できていない 経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。) ☐ 十分できている ☒ できている ☐ あまり寄与していない ☐ できていない 目標達成度(計画どおり目標を達成できたか。) ☐ 十分できている ☒ できている ☐ あまり寄与していない ☐ できていない					
総 合 評 価	必要性	有効性	効率性	達成度	総合評価	成果が上がっている
	4	3	3	3	B	
事 業 の 方 向 性	☐ さらに重点化する ☒ 現状のまま継続する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止・廃止を検討する		課題や今後の方針 (Action)	組織的な相談体制を充実させるとともに、いじめ防止やいじめの早期発見についても、全職員で組織的に取り組む。		
教育委員会評価 (二次評価)	いじめ防止や早急な発見対応のため、組織的な相談体制に取り組み、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどの専門家も活用してください。					

推 進 施 策	1－4 特別支援教育、帰国・外国人児童生徒の支援の充実				No.	17
事 業 名	障がいのある子どもの教育環境づくり				担当課	学校教育課
事 業 概 要	教育支援計画を活用した指導や支援の充実を図ります。 特別支援教育に関する研究会・研修会を実施します。					
事 業 の 対 象	対象(誰を・何を)					
	障がいのある幼児・児童・生徒及びその保護者、教職員					
	意図と結果(どういう状態にしたいのか・求めるもの)					
	障がいのある子どもたち、一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばし、自立し、社会参加するための基盤となる生きる力を培うため、一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導及び必要な支援を行う。					
具 体 施 策 (Plan)	支援を必要とする幼児・児童・生徒の実態に応じた学習環境の整備と特別支援教育に対する教職員の意識や指導力の向上を図る。					
令和 5 年度 事業実績状況 (Do)	すべての園・小・中で、特別支援教育コーディネーターを置き、子どもたちを学校全体で支えた。支援が必要な園・小・中には、加配教員を配置するなど、支援体制の充実を図った。また各学校では、個別的教育支援計画を作成し、児童生徒の一人ひとりのニーズを正確に把握しながら、的確な教育的支援に取り組んだ。特別支援に携わる教職員を対象に、研修会を開催した。					
事 業 の 評 価 (Check)	必要性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)					
	☒ 増加		☐ 横ばい		☐ 減少	
	☐ かなり減少					
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)					
	☐ 十分寄与する		☒ 概ね寄与する		☐ あまり寄与していない	
	☐ できていない					
	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)					
☐ 十分できている		☒ できている		☐ あまり寄与していない		
☐ できていない						
目標達成度(計画どおり目標を達成できたか。)						
☐ 十分できている		☒ できている		☐ あまり寄与していない		
☐ できていない						
総 合 評 価	必要性	有効性	効率性	達成度	総合評価	成果が上がっている
	4	3	3	3	B	
事 業 の 方 向 性	☐ さらに重点化する ☒ 現状のまま継続する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止・廃止を検討する				課題や今後の方針 (Action)	増加傾向にある支援を必要とする児童・生徒の教育的環境を整える。施設整備、人的支援を行いながら、研修会を開催し、支援体制を整える。
教育委員会評価 (二次評価)	学習・支援を要望する子どもの実態に応じ、校内における支援環境と研修を含めた体制整備を努めるとともに、特別支援教育に対する教職員の意識と指導力の向上に努めてください。					

推 進 施 策	1－4 特別支援教育、帰国・外国人児童生徒の支援の充実	No.	18		
事 業 名	相談支援体制の充実	担当課	学校教育課		
事 業 概 要	特別支援学校の教員や専門の指導員・相談員、市健康福祉部との連携を深めます。				
事 業 の 対 象	対象(誰を・何を)				
	障がいのある児童・生徒				
	意図と結果(どういう状態にしたいのか・求めるもの)				
	医療・福祉・保健・教育等関係機関で連携した取り組みができるように、特別支援教育推進体制づくりを行う。				
具 体 施 策 (Plan)	特別支援連携協議会を開催し、専門的な指導を受け、関係諸機関との連携を図る。				
令和 5 年度 事業実績状況 (Do)	特別支援連携協議会を開催し、教育・福祉・医療・保健等の関係者が連携し、支援が必要な子どもたちに、乳幼児から学校卒業までの一貫した相談・支援ができるよう努めた。(学校(園)と障害児通所支援事業所等との連携推進部会：R5.8.22開催) 毎年入学後、速やかに楽しく有意義な学校生活が送れるように、「入学応援シート」の活用を勧め、学校と家庭で必要な情報を共有した。				
事 業 の 評 価 (Check)	必要性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)				
	☒ 増加	☐ 横ばい	☐ 減少	☐ かなり減少	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	☐ 十分寄与する	☒ 概ね寄与する	☐ あまり寄与していない	☐ できていない	
	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)				
	☐ 十分できている	☒ できている	☐ あまり寄与していない	☐ できていない	
総 合 評 価	目標達成度(計画どおり目標を達成できたか。)				
	☐ 十分できている	☒ できている	☐ あまり寄与していない	☐ できていない	
	必要性	有効性	効率性	達成度	総合評価
4	3	3	3	B	
事 業 の 方 向 性	☐ さらに重点化する ☒ 現状のまま継続する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止・廃止を検討する		課題や今後の方針 (Action)	乳幼児から学校卒業までの長期的な視点に立ち、関係機関が連携し、一貫性のある必要な支援ができる体制づくりをする。	
教育委員会評価 (二次評価)	今後も、特別支援連携協議会の開催により、専門的な指導を受けるとともに、関係機関との連携を努めてください。				

推 進 施 策	1－4 特別支援教育、帰国・外国人児童生徒の支援の充実				No.	19
事 業 名	帰国・外国人児童生徒への支援				担当課	学校教育課
事 業 概 要	学校生活や学習を支援します。					
事 業 の 対 象	対象(誰を・何を)					
	日本語指導が必要な生徒					
	意図と結果(どういう状態にしたいのか・求めるもの)					
	日本語能力が十分でない児童生徒に対し、日本語支援員による日本語指導を実施し、学校生活や学習を支援する。					
具 体 施 策 (Plan)	国及び県の「帰国・外国人児童生徒トータルサポート事業」を活用し、日本語教育の支援を受けた。					
令和 5 年度 事業実績状況 (Do)	令和5年度は、小学生3名が「帰国・外国人児童生徒トータルサポート事業」を活用し、日本語教育の支援を受けた。					
事 業 の 評 価 (Check)	必要性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)					
	☐ 増加		☒ 横ばい		☐ 減少	
	☐ かなり減少					
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)					
	☒ 十分寄与する		☐ 概ね寄与する		☐ あまり寄与していない	
	☐ できていない					
	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)					
☐ 十分できている		☒ できている		☐ あまり寄与していない		
☐ できていない						
目標達成度(計画どおり目標を達成できたか。)						
☐ 十分できている		☒ できている		☐ あまり寄与していない		
☐ できていない						
総 合 評 価	必要性	有効性	効率性	達成度	総合評価	成果が上がっている
	3	4	3	3	B	
事 業 の 方 向 性	☐ さらに重点化する ☒ 現状のまま継続する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止・廃止を検討する				課題や今後の方針 (Action)	事業の取り組み成果もあり、日本語指導が必要な児童・生徒の増加が予想されるため、支援体制を充実する必要がある。
教育委員会評価 (二次評価)	外国からの転入児童生徒に対し、補助事業を活用するなどして、適正かつ十分な日本語指導や社会生活相談や、学校生活相談に努めてください。					

推 進 施 策	1－5 安全・安心な教育環境づくり	No.	20		
事 業 名	地域全体の連携強化	担当課	学校教育課		
事 業 概 要	家庭、地域、関係機関と連携した安全指導や巡回指導を実施します。				
事 業 の 対 象	対象(誰を・何を)				
	児童・生徒				
	意図と結果(どういう状態にしたいのか・求めるもの)				
	子どもたちの健やかな成長と自己実現をめざし、家庭や地域、関係機関と連携しながら、常に安全で安心な環境を確保する。				
具 体 施 策 (Plan)	阿波市青少年育成センターや警察と連携し、不審者情報の提供、登下校のパトロール、広報活動、ゲームセンター・量販店・書店等の巡視、防犯教室等を開催する。またスクールガードリーダーによる巡回指導と学校安全に対する指導を行う。				
令和 5 年度 事業実績状況 (Do)	・通学路の点検(学校・警察・地域等の連携) ・啓発のぼりの作成、街頭補導(学校・警察・地域・青少年育成センター等の連携) ・スクールガードリーダーによる巡回指導				
事 業 の 評 価 (Check)	必要性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)				
	☒ 増加	☐ 横ばい	☐ 減少	☐ かなり減少	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	☐ 十分寄与する	☒ 概ね寄与する	☐ あまり寄与していない	☐ できていない	
	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)				
	☒ 十分できている	☐ できている	☐ あまり寄与していない	☐ できていない	
総 合 評 価	目標達成度(計画どおり目標を達成できたか。)				
	☐ 十分できている	☒ できている	☐ あまり寄与していない	☐ できていない	
	必要性	有効性	効率性	達成度	総合評価
4	3	4	3	A	
事 業 の 方 向 性	☒ さらに重点化する ☐ 現状のまま継続する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止・廃止を検討する		課題や今後の方針 (Action)	学校、家庭、関係機関が連携・情報共有し、地域全体で子どもたちの安全を確保する体制の強化を図るとともに、自らが危険予測能力や危険回避能力を身につける学習を行う。	
教育委員会評価 (二次評価)	今後も、家庭、学校、地域、警察と連携しながら、スクールガードの充実に努め、安全確保や危機管理能力の育成に努めてください。				

推 進 施 策	1－5 安全・安心な教育環境づくり	No.	21		
事 業 名	防災教育の充実	担当課	学校教育課		
事 業 概 要	小・中学校の防災計画作成及び地域との合同防災訓練を実施します。				
事 業 の 対 象	対象(誰を・何を)				
	児童・生徒・保護者				
	意図と結果(どういう状態にしたいのか・求めるもの)				
	災害時に備え、学校防災計画や学校防災マニュアルに基づいた研修や訓練を行い、安全・安心な教育環境づくりをめざす。				
具 体 施 策 (Plan)	小・中学校のそれぞれの地域の実態に応じた防災計画を作成し、地域との合同避難訓練を実施する。				
令和 5 年度 事業実績状況 (Do)	すべての小・中学校で地域の実態に応じた学校防災計画や学校防災マニュアルを作成し、それに基づいた研修や訓練を行った。また、防災等出前授業や小学校区内での自主防災組織連合会防災訓練を実施した。				
事 業 の 評 価 (Check)	必要性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)				
	☐ 増加	☒ 横ばい	☐ 減少		
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	☐ 十分寄与する	☒ 概ね寄与する	☐ あまり寄与していない		
	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)				
	☐ 十分できている	☒ できている	☐ あまり寄与していない		
総 合 評 価	目標達成度(計画どおり目標を達成できたか。)				
	☐ 十分できている	☒ できている	☐ あまり寄与していない		
	必要性	有効性	効率性	達成度	総合評価
3	3	3	3	B	
事 業 の 方 向 性	☐ さらに重点化する ☒ 現状のまま継続する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止・廃止を検討する		課題や今後の方針 (Action)	今後も、家庭や地域、行政、関係機関と連携しながら地域全体で、安全を確保する体制づくりに取り組む。	
教育委員会評価 (二次評価)	今後も地域、行政、消防、警察などの関係機関と連携しながら、地域全体で安全確保体制の構築に努めてください。				

推 進 施 策	1－5 安全・安心な教育環境づくり	No.	22			
事 業 名	安全教育の充実	担当課	学校教育課			
事 業 概 要	通学路の危険箇所の合同点検や安全点検を実施します。 交通安全指導教室を実施します。 阿波市青少年育成センターや警察署と連携して、防犯教室を実施し危機管理能力の育成を図ります。					
事 業 の 対 象	対象(誰を・何を) 児童・生徒 意図と結果(どういう状態にしたいのか・求めるもの) 子どもたちに自他の生命尊重を基盤として、自ら安全に行動し、他の人や社会の安全に貢献できる資質や能力を身につけさせるとともに、安全・安心な教育環境づくりを進める。					
具 体 施 策 (Plan)	通学路点検や交通安全教室の開催、青少年育成センター・警察・地域と連携しての防犯教室を実施する。					
令和 5 年度 事業実績状況 (Do)	阿波吉野川警察署、県東部県土整備局、市建設課、小・中学校の各担当者に加え、青少年育成センターやスクールガードリーダーも参加し、通学路危険箇所合同点検を実施した。令和5年度は44箇所の点検を行い、関係各所に外側線の引き直しや道路標示・グリーンベルトの設置等を依頼したり、学校における児童生徒への安全教育を行ったりした。					
事 業 の 評 価 (Check)	必要性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。) ☒ 増加 ☐ 横ばい ☐ 減少 ☐ かなり減少 有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。) ☐ 十分寄与する ☒ 概ね寄与する ☐ あまり寄与していない ☐ できていない 経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。) ☒ 十分できている ☐ できている ☐ あまり寄与していない ☐ できていない 目標達成度(計画どおり目標を達成できたか。) ☐ 十分できている ☒ できている ☐ あまり寄与していない ☐ できていない					
総 合 評 価	必要性	有効性	効率性	達成度	総合評価	十分成果が上がっている
	4	3	4	3	A	
事 業 の 方 向 性	☐ さらに重点化する ☒ 現状のまま継続する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止・廃止を検討する		課題や今後の方針 (Action)	阿波市通学路交通安全プログラムをもとに、対策実施後の効果把握を目的に、PDCAサイクルとして繰り返し実施し、通学路の安全性の向上を図るとともに、児童生徒の安全教育に努める。		
教育委員会評価 (二次評価)	今後も定期的に危険箇所合同点検を行い、関係機関への改善要望を行うとともに、学校での交通安全教室や防犯教室を継続して実施してください。					

推 進 施 策	1－6 小・中・高等学校の連携強化	No.	23		
事 業 名	連携強化の取組	担当課	学校教育課		
事 業 概 要	学校行事、部活動の合同実施をします。 連携強化のための研修会を実施します。 交流学习や乗り入れ授業を実施します。				
事 業 の 対 象	対象(誰を・何を)				
	児童・生徒				
	意図と結果(どういう状態にしたいのか・求めるもの)				
	小・中学校が連携した教育課程の編成や実施に加え、相互交流等を充実し、子どもたちの発達段階や実情に応じた指導を行う。				
具 体 施 策 (Plan)	校種間連携を図りながら、環境の変化による中1ギャップや高1クライシスを予防する。オープンスクールを開催したり、校種間の交流の機会を増やしたりする。また、平成14年度から市場中学校・阿波中学校が、連携型中高一貫教育校の阿波西高校と中高の連携を深めている。				
令和 5 年度 事業実績状況 (Do)	中学校では、小学生対象のオープンスクールに代えて、入学説明会を開催した。また、中高一貫教育を推進するため、市場中・阿波中と阿波西高校との間で、教員の相互交流を行った。				
事 業 の 評 価 (Check)	必要性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)				
	☐ 増加	☒ 横ばい	☐ 減少		
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	☐ 十分寄与する	☒ 概ね寄与する	☐ あまり寄与していない		
	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)				
	☐ 十分できている	☒ できている	☐ あまり寄与していない		
総 合 評 価	目標達成度(計画どおり目標を達成できたか。)				
	☐ 十分できている	☒ できている	☐ あまり寄与していない		
	必要性	有効性	効率性	達成度	総合評価
3	3	3	3	B	
事 業 の 方 向 性	☐ さらに重点化する ☒ 現状のまま継続する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止・廃止を検討する		課題や今後の方針 (Action)	小・中・高の連携強化のための体制づくりに努め、校種を超えた研修会、研究会への参加を推進する。	
教育委員会評価 (二次評価)	今後も、小中高の連携強化に努め、郷土愛を深められる、交流や研修を推進してください。				

推 進 施 策	1-7 学校施設の整備	No.	24			
事 業 名	施設の長寿命化工事	担当課	教育総務課			
事 業 概 要	令和2年度に策定された、「阿波市学校施設長寿命化計画」に基づき進めます。					
事 業 の 対 象	対象(誰を・何を)					
	公立学校施設					
	意図と結果(どういう状態にしたいのか・求めるもの)					
施設の劣化状況や過去に行った改修工事等を適切に把握し、建物の耐久性を高めることに加え、建物の機能や性能を現在の学校が求められている水準まで引き上げる改修等を行う。						
具 体 施 策 (Plan)	実施設計業務及び改修工事					
令和5年度 事業実績状況 (Do)	☐ 阿波中学校屋外運動場夜間照明及び防球ネット改修工事に伴う設計業務 1,682千円 ☐ 吉野中学校屋内運動場大規模改修工事(第1工区・第2工区) 172,150千円 ☐ 市場中学校屋外運動場夜間照明改修工事 34,551千円 ☐ 市場中学校屋内運動場防球ネット改修その他工事 16,962千円					
事 業 の 評 価 (Check)	必要性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)					
	☐ 増加	☒ 横ばい	☐ 減少			
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)					
	☐ 十分寄与する	☒ 概ね寄与する	☐ あまり寄与していない			
	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)					
	☐ 十分できている	☒ できている	☐ あまり寄与していない			
目 標 達 成 度 (計画どおり目標を達成できたか。)	☐ 十分できている					
	☒ できている					
	☐ あまり寄与していない					
総 合 評 価	必要性	有効性	効率性	達成度	総合評価	成果が上がっている
	3	3	3	3	B	
事 業 の 方 向 性	☐ さらに重点化する ☒ 現状のまま継続する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止・廃止を検討する				課題や今後の方針(Action)	令和6年度には阿波中学校屋外運動場夜間照明及び防球ネット改修工事、屋内運動場トイレ改修工事、市場中学校技術室棟改修工事を行う。今後も長寿命化計画に基づき、学校施設の整備を行う。
教育委員会評価 (二次評価)	阿波市学校長寿命化計画により、年次的に計画を進めるとともに、児童生徒数の動向を踏まえ、事業を慎重に進めてください。					

推 進 施 策	1-7 学校施設の整備	No.	25		
事 業 名	施設バリアフリー化	担当課	教育総務課		
事 業 概 要	令和2年度に策定された、「阿波市学校施設長寿命化計画」に基づき進めます。				
事 業 の 対 象	対象(誰を・何を)				
	公立学校施設				
	意図と結果(どういう状態にしたいのか・求めるもの)				
	障がいのある児童生徒等が安全かつ円滑に学校生活を送ることができるように配慮する。 学校施設のバリアフリー化等の教育的な意義に配慮する。				
具 体 施 策 (Plan)	スロープやエレベーター、多目的トイレ等を設置する。				
令和 5 年度 事業実績状況 (Do)	○吉野中学校・・・体育館内の多目的トイレの改修工事を実施 ○御所小学校・・・校舎へ多目的トイレ室増築を行うための実施設計				
事 業 の 評 価 (Check)	必要性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)				
	☒ 増加	☐ 横ばい	☐ 減少	☐ かなり減少	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	☒ 十分寄与する	☐ 概ね寄与する	☐ あまり寄与していない	☐ できていない	
	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)				
	☐ 十分できている	☒ できている	☐ あまり寄与していない	☐ できていない	
総 合 評 価	目標達成度(計画どおり目標を達成できたか。)				
	☐ 十分できている	☒ できている	☐ あまり寄与していない	☐ できていない	
	必要性	有効性	効率性	達成度	総合評価
4	4	3	3	A	
事 業 の 方 向 性	☐ さらに重点化する ☒ 現状のまま継続する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止・廃止を検討する		課題や今後の方針 (Action)	障がいのある児童生徒が十分に教育を受けられるための環境整備を、学校や保護者の意見を聞きながら適切に行う。	
教育委員会評価 (二次評価)	今後もニーズに合わせ、学校施設のバリアフリー化に取り組んでください。				

推 進 施 策	1－7 学校施設の整備	No.	26		
事 業 名	教育施設の充実	担当課	教育総務課		
事 業 概 要	特別教室のエアコン設置に取り組んでいきます。				
事 業 の 対 象	対象(誰を・何を)				
	公立学校施設				
	意図と結果(どういう状態にしたいのか・求めるもの)				
	快適で安心して利用できる施設整備の充実に努める。				
具 体 施 策 (Plan)	・令和4年度をもって設置率100%となった。特別教室エアコンの適切な維持管理				
令和 5 年度 事業実績状況 (Do)	特別教室は設置完了のため、事業実績なし 一部の小学校において、普通教室（一条小・八幡小・土成中支援学級※新設各1台） 職員室（土成中※更新3台）へ設置				
事 業 の 評 価 (Check)	必要性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)				
	☐ 増加	☒ 横ばい	☐ 減少	☐ かなり減少	
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	☐ 十分寄与する	☒ 概ね寄与する	☐ あまり寄与していない	☐ できていない	
	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)				
	☐ 十分できている	☒ できている	☐ あまり寄与していない	☐ できていない	
総 合 評 価	目標達成度(計画どおり目標を達成できたか。)				
	☐ 十分できている	☒ できている	☐ あまり寄与していない	☐ できていない	
	必要性	有効性	効率性	達成度	総合評価
3	3	3	3	B	
事 業 の 方 向 性	☐ さらに重点化する ☐ 現状のまま継続する ☒ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止・廃止を検討する		課題や今後の方針 (Action)	設置年度が異なるため、適切な維持管理のもと、適宜更新を行う。	
教育委員会評価 (二次評価)	空調設備においては、設置完了していますが、今後更新時期やメンテナンスについても、調査、点検、をしてください。				